

国際交流学科 3年

留学先：韓国・新羅大学

留学期間：2023年3月～2023年12月

私が韓国での留学生活で意欲的に取り組んだことは主に2つあります。

1つ目は、一回一回の授業と日々の気づきを大切にしたことです。まず授業では、先生の話に加えてクラスメートの話にも真剣に耳を傾け、たくさん自分の意見を話すようにしました。そうすることで、自分の考えを言葉にするということに慣れていき、どんな場面でも韓国語を話すことに抵抗がなくなっていました。そしていろいろな国の人が集まる語学堂だからこそ、国によって異なる文化や考え方も知れたし、反対に日本のことや私自身の考えも共有することが出来ました。今までは当たり前だと思っていたけれど、国が違うことで常識も異なることがあるのだと改めて実感することも多々ありました。また「日々の気づき」の面では、感じたことや考えたことを携帯にメモして読み返せるようにしました。これは留学中の学びを可視化し、日本に帰ってからも留学中のことを思い出して今後活かせるようにする意図がありました。実際に読み返してみると、当時の自分が何に関心があってどんな意見を持っていたのかがわかり、今の自分と比べることで考えの変化に気づくことが出来ました。

2つ目は、集まりに積極的に参加したことです。日韓の学生が集まって行う勉強会では、グループで韓国人と調べ物や発表をしたりして経験を増やすことが出来ました。日本映画を一緒に観て感想を共有し合った際には、何を見るか決める段階から韓国人がどういう思考を持っていて、何を考えるのかを知る機会となりました。その他には言語交換にも参加しました。教授と1対1で行うので緊張もしましたが、人生の先輩である教授から様々な助言を頂き、自分のことやこれからについて考える機会にもなりました。

もう1つ私にとって大きかった出来事は、釜山にある日本語スタディでボランティアの先生として活動したことです。相手はみんな初級だったため韓国語で説明しなければなりませんでしたが、そのおかげで韓国語を話す量が格段と増え、自分が言いたいことにぴったり合う単語がわからなくても他の言い回しで伝える練習にもなりました。またみんなが釜山の方言や様々な韓国語を教えてくれたので、私自身かなり力がついたと思います。さらに、釜山以外の地域から来た人や多様な職種の人達に出会って接したことで、ひとえに韓国人といってもいろいろな考え方、性格の人がいると実感することが出来ました。

このように留学を通して多くを学び視野を広げることが出来たので、今後はこれらを活かしていくことを目標に頑張っていきたいです。

